

一 無産政党组織準備の経過の好ましからざること。 三六
二 外部に発派したる行動綱領の背後に我國家組織と相
互に於ける規則綱領のあること。
規約に於て団体加入主義を取ること。

六 無産政黨の再舉上

第一回 臨時大會の成立

其の後、無産政黨の再舉が企てられ、大正十五年一月十
三日、大阪に於て第一回臨時大會が開かれた。之に對する
勞働能回盟の對策と、其の組織は左の如くであつた。
去る一月十日上旬、川村廉太郎(會業勞働總同盟)山上武雄(本
農民組合)の二名の名義を以て、無産政黨準備の協議會を一
月十三日大阪に於て開くから參加して、贊成したいと云ふ案内
次、終同盟に來た。

我等は中央委員及び本部員と協議の結果、若し參加勸誘
を受けた九個の反道団体(東京市電自治會、掖掖聯合、
陶同盟、中野農民組合、日不農民組合、大阪市電自助會)等つて之に
參加するを認め、私は同盟も亦參加を許せざるものがあるが、
然らぬと、協同會には正式なる準備協議會に參加すべし協同會の
樹克庵の二名が十三日の會合に臨んだのである。個人は、中ノ
島公淵堂の會堂に於て是食を認めつゝ、懸紙を交へたか、主
催者側が此の會合を以て正式なる無産政黨準備協議會とす
べきこととを主張せしめ、對此、總同盟代表者等は、東京市電
自治會及掖掖勞働組合聯合の參加なく、且つ各組合の隔離協
談會とすこと以上、時期尚早の嫌しがり、直ち正式なる準備協